

様式第7号(第11条関係)

子ども応援プロジェクト事業実績報告書

2022年3月31日

(宛先) 静岡市長

所在地	静岡市葵区宮ヶ崎町53 番地
名称	NPO法人POPOLO
報告者 代表者の氏名	望月 健次
電話番号	054-254-5718

令和3年4月1日付け静市市第2259号により補助金の交付の決定を受けた事業が完了したので、静岡市子ども応援プロジェクト補助金交付要綱第11条の規定により、次のとおり関係書類を添えて報告します。

1 交付決定額 1,993,082円

2 事業完了年月日 2022年 3月 31日

3 添付書類

(1) 事業実績書(様式第8号)

(2) 収支決算書(様式第9号)



事業実績書

事業名称	静岡に住む親子の『助けて』を見逃さない！食糧支援から始まる子ども応援プロジェクト
事業実施期間	2021年 4 月 1日 ~ 2022年 3月 31日
実施場所	静岡市全域
総事業費	1,999,543
事業目的	経済的に困窮する子育て世帯に対し、経済的な支援を行うとともに、当該世帯が行政機関その他の主体から適切な支援を受けることができる環境を整備するため。
事業内容	<p>(1)チャットボットを活用したアウトリーチ 365日24時間どこに相談したらいいのか、相談内容によって専門窓口を紹介できるLINEチャットボットを開発。そのうえで、窓口に行くこと自体にためらいを持つ方のために、メールでの問い合わせにも対応し、必要に応じて、直接面談もできるような仕組みを作った。より効果を出すために、TwitterやFacebookで広告を行った。また、新型コロナウイルスの影響で生活困窮している方向けの案内項目も作成し、情報が整理されていないことで制度にたどり着けない事態を防いだ。</p> <p>実施期間 通年</p> <p>(2)子ども応援プロジェクト 夏休みや、冬休みの期間等に子育て支援の一環として、SNS(ツイッターやフェイスブックなど)を活用し、静岡市内の子育て世帯に対して食料支援を行った。また、下記の各種団体や学校と連携を行い、食料の配布会を行った。食品の受け渡しの際に、簡単なアンケートを取り生活の状況を確認し、直ちに支援が必要、見守りが必要、現時点では問題なしで分類し、お住いの地域にある相談機関の紹介をするとともに、見守りが必要以上の判断をした世帯に対しては、定期的な声かけを実施。対象者との接点が高い</p>

	<p>NPO法人しずおか共育ネットやシングルペアレント101に配布会の段取りなどの業務の一部を委託した。</p> <p>①日程 2021年4月～2022年3月31日までの間</p> <p>②実施回数（実施頻度） 合計 30回</p> <p>③会場 （ 県立大学の学生へは郵送で配布 ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡高校（定時制） ・清水東高校（定時制） ・静岡中央高校（定時制） ・NPO法人POPOLO 事務所にて（葵区宮ヶ崎町） ・みなくる（駿河区） ・あさはた緑地
<p>事業を実施したことによる効果や影響</p>	<p>効果</p> <p>①LINE相談 静岡市在住者 83世帯 合計482回実施。</p> <p>②配布会実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校での配布会 延べ件数 606件 ・県立大学生へのコロナ緊急支援（静岡市民分）延べ件数 215件 ・ひとり親家庭対象の配布会 延べ件数 295件 <p style="text-align: right;">合計 配布件数 1116件</p> <p>学校と連携がとれたことで、学生の生活困窮相談が、学校を經由して掘り起こすことができた。現在もLINEで見守り支援を継続中です。</p> <p>ひとり親世帯への配布会をきっかけに、生活困窮相談につながるケースも多く、支援につながるケースもありました。</p>

様式第9号 (第11条関係)

収支決算書

収入		支出	
子ども応援プロジェクト補助金	1,993,082	・旅費 (駐車料金・乗車券)	9,340
法人拠出金	6,461	・消耗品費 (日用品・事務用品・食品購入)	449,909
		・燃料費 (ガソリン代)	42,508
		・印刷製本費 (事業周知のためのチラシ)	19,120
		・通信運搬費 (電話代・郵送)	65,399
		・委託料 (チャットボット開発費)	180,000
		・広告費 (SNS等)	138,267
		・その他(食糧保管倉庫家賃)	720,000
		・その他(配布会謝金)	375,000
計	1,999,543	計	1,999,543